

経営改善目標の達成に向けた取組状況

1 法人の概要（令和5年7月1日現在）

法人名	(公財) かながわトラストみどり財団							
設立年月日	昭和60年6月1日	代表者名	理事長 川本 守彦					
所在地	横浜市西区岡野 2-12-20	電話番号	045-412-2525					
基本財産等	332,000,000	円	県出資額	300,000,000	円	県出資率	90.4	%

2 法人運営における現状の課題

長期債券（20年債、30年債）を購入し、基本財産の運用益増加のための工夫を行っているが、低金利により厳しい状況である。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種イベントの中止や縮小により、会費収入などの減少及び今後、県からの補助金の減少が見込まれる中、当財団の進める県民との協働による身近な緑地保全、森林の整備や地域緑化の推進は厳しい財政環境である。

そのため、引き続き新規会員の獲得に努めるほかに、会員等に緑地保全への支援会費及び寄附金への協力を、より一層積極的に呼び掛けている。緑の募金収入は、街頭募金が減少しているため、引き続き企業、学校等への協力要請を行う。

3 経営改善目標の達成に向けた取組実績等

* 項目ごとに、下段の（ ）内に目標を、上段に実績を記載してください。

【県民サービスの向上】

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度			4年度自己評価
1	情報発信の強化 (ホームページのアクセス件数)	件/月	16,481 (15,000)	(15,100)	(15,100)			A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	ホームページの改善、SNSの情報発信の強化に努めたところ、スマートフォン等からのアクセス件数が増加したため、A評価とした。							
	備考							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度			4年度自己評価
2	トラスト会員新規入会者数 (普通会員)	人	469 (500)	(500)	(500)			A
	(トラスト緑地保全支援 会員)	人	107 (120)	(120)	(120)			
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	コロナ禍の影響で、イベント等の中止や縮小で広報活動に限られる中、インターネット、SNSなどの情報発信に努めたところ、前年度並みの成果を上げたため、A評価とした。							
備考								

コロナ禍の制限が緩和したため、会員募集の積極的な広報活動に努めていく。

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度			4年度自己評価
3	みどりの実践団体数 (財団事業に参加する団体数)	団体	219 (215)	(220)	(220)			A
	自己評価 (目標未達の場合はその理由)				今後の取組方針 (目標未達の場合は必ず記載)			
	緑の募金、みどりのトラスト会員の募集、財団主催イベントの周知、研修会への参加及び団体の情報交換や連携の促進に努めたところ、目標を上回る参加を得たため、A評価とした。							
	備考							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度			4年度自己評価
4	保存契約緑地拡大面積	m ²	319 (500)	(500)	(500)			A
	自己評価 (目標未達の場合はその理由)				今後の取組方針 (目標未達の場合は必ず記載)			
	久田緑地において保存契約緑地の拡大に努めたため、A評価とした。				地元市の協力を得ながら、未契約緑地の土地所有者と引き続き交渉し、保存契約緑地の拡大に努めていく。			
	備考							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度			4年度自己評価
5 ①	森林づくりボランティア参加者	人	5,725 (10,500)	(10,500)	(10,500)			B
	自己評価 (目標未達の場合はその理由)				今後の取組方針 (目標未達の場合は必ず記載)			
	コロナ禍での企業や学校等の活動が制限され、目標未達だったため、B評価とした。				CSR活動やサステイナブルな取組としてボランティア活動が有意義であることをPRしながら、参加者の増加に努める。			
	備考							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度			4年度自己評価
5 ②	森林インストラクター養成数 (延べ) (1期 [2年間] 35名)	人	563 (565)	(565)	(600)			A
	自己評価 (目標未達の場合はその理由)				今後の取組方針 (目標未達の場合は必ず記載)			
	定員の35人でスタートしたが、受講者の自己都合により、2人の辞退があったため33人となったが、想定内であるため、A評価とした。				今後の養成者の募集人員を見直していく。			
	備考							
令和4年3月の経営改善目標の策定時に設定した目標値と現経営計画の目標値が相違していたため、令和4～6年度の目標を修正した。 (参考) 修正前目標 4年度：531人、5年度：531人、6年度：566人								

【収支健全化に向けた経営改善】

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度			4年度自己評価
1	会費収入	千円	16,473 (16,800)	(16,900)	(17,000)			A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	コロナ禍の影響により、イベント等の中止や縮小で広報活動が限られる中、SDGsに取り組む県内の企業や団体等への広報に努めた結果、目標の98%に達したため、A評価とした。				引き続き、未納会員を減らすため、自然観察会等のイベントの向上及び口座引落での会費納入について周知する。また、SDGsに関連した企業等へ財団運動のPRを行い、会費収入の増加に取り組んでいく。			
	備考							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度			4年度自己評価
2	寄附金収入 (緑の募金を除く)	千円	4,694 (4,000)	(4,000)	(4,000)			A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	機関紙ミドリ等による広報に努めた結果、目標を上回ったため、A評価とした。							
	備考							
個人 249件 団体 21件								

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度			4年度自己評価
3	緑の募金収入	千円	27,194 (20,000)	(20,100)	(20,200)			A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	企業のCSR活動で緑の募金の取組により、目標を上回ったため、A評価とした。							
	備考							

4 取組実績等についての総括（法人）

かながわのナショナル・トラスト運動や県土緑化運動を一層推進するため、普及啓発活動を通じてネットワークの拡大を図りながら、寄附金・募金や会員の獲得による資金調達の強化に取り組んできた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、イベントの中止や縮小により、会費収入が目標額を下回ったため、広報の拡大や退会者を減らすための情報発信を引き続き展開していく。また、自主財源の拡大を図るため、財団事業や法人運営への寄附の増強及び企業等からの事業受託の継続に努めていく。

緑の募金収入は、新型コロナウイルス感染症拡大の防止が緩和されたことにより、通常の街頭募金、学校募金の拡大に努める。

5 取組実績等についての総括（所管課）

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、イベントの中止や縮小により目標を下回ってしまった項目はあるものの、普及啓発活動や企業等のCSR活動の協力、広報の拡大等の取組を継続することで「森林づくりボランティア参加者」「緑の募金収入」等は前年度を上回る実績を挙げている。

特に「緑の募金収入」については、過去5年間で最大の収入実績があり、努力を大いに評価したい。

令和4年度～6年度の経営改善目標において、経営改善目標の達成に向けた一層の取組とかながわのナショナル・トラスト運動の一層の普及が求められており、所管課として目標達成に向けて協力していく。

6 第三セクター等改革推進部会の総合評価・今後の取組に向けた意見

評価結果	
A	概ね着実に取組が進められている。